

【岡山県】【岡山労働局】 おかやま交流・定住フェアにおいて岡山県と岡山労働局が連携して就職相談を実施

【目的】

首都圏をはじめとする大都市圏から岡山への移住・定住を考えている方に対して、**地域の生活環境、就職、就農、住居などの相談**や**先輩移住者とのトークセッション**を行う、晴れの国ぐらし総合相談会「おかやま交流・定住フェア」を開催。

- ※ 東京都、大阪府で計5回実施
- ※ 「おかやま創生総合戦略」の「重要業績評価指数（KPI）」で「県への移住者10,000人（5年間累計）」が掲げられている。
- ※ 当該取組は、平成28年3月に県知事と岡山労働局長が締結した「岡山県雇用対策協定」の中にも盛り込んでいる。

【実施概要】

- ◆ 平成27年度中に、AP品川、東京交通会館、難波御堂筋ホール、AP大阪で実施。平成28年度においても実施を予定している。
- ◆ 関係団体が各コーナーを設置し、ワンストップ相談を実現
 - ・ 就職相談コーナー・・・岡山労働局及び岡山県労働雇用政策課
 - ※ 国は、求人情報の提供等による職業相談を実施。県はコーディネーターによる相談を実施。
 - ・ 就農相談コーナー・・・岡山県農産課及び農林漁業担い手育成財団
 - ・ 住まいの相談コーナー・・・宅地建物取引業協会
 - ・ 市町村相談コーナー・・・各市町村
 - ・ 岡山県産ぶどうの試食コーナー・・・岡山県農産課
- ※ 岡山県はイベント実施後にアンケートを実施。アンケートの中にハローワークの就職支援を希望する者がいた場合は、ハローワークの取組内容等を情報提供している。
- ◆ 先輩移住者とのトークセッション：先輩移住者の体験談の発表と、来場者から発表者への質問など。

【効果】

- ◆ 参加人員 408組 650人
- ◆ 相談延べ件数 1,066件
- 相談内容の内訳
 - 就職・転職相談90件 住まい相談63件 就農相談49件 市町村783件 等
- ◆ 「県と労働局が相まって、具体的な求人情報が得られたり、就職・転職相談等をワンストップで丁寧に説明いただき大変参考になった。」との感想を参加者からいただいた。



《就職相談コーナーでの相談》



＜岡山県コメント＞

岡山に住みたいと思う人に、くらしやしごとについての相談にきめ細やかに対応することで、都市圏からの移住者を増やし、地域の活性化に繋げる取組みとして効果があった。

＜労働局コメント＞

岡山県への就職希望者は仕事だけでなく、移住等の相談も必要としていることから、職業相談、求人情報の提供を行う労働局と、岡山県が実施する移住・定住支援を連携して実施することは、地方創生の効果的な取組みになる。

今後は、当該取組を雇用対策協定の中に盛り込むことでPDCAサイクルを回すことができるため、更に事業を強化していけることを期待している。